

## 令和4年度 商業振興補助事業審査委員会（第5回）議事録

- 1 日 時 令和4年9月29日(木)14時00分～14時50分
- 2 場 所 横須賀市役所本庁舎3階302会議室
- 3 出席委員 安食 静二 (INPIT 神奈川県知財総合支援窓口 窓口支援担当者)  
石井 健次(公益財団法人横須賀市産業振興財団主幹)  
大場 保男(公益財団法人横須賀市産業振興財団商工相談員)  
佐藤 廣(横須賀商工会議所産業・地域活性課長)  
為崎 緑 (公益財団法人横須賀市産業振興財団商工相談員)  
熊澤 彰(横須賀市文化スポーツ観光部商業振興課長)
- 4 事務局 文化スポーツ観光部商業振興課 三本木主査、宮本主任、水野
- 5 傍聴者 0名

### 6 議事内容

#### (1) 審査スケジュールについて

(事務局)

本日はにぎわいづくりイベント事業3団体の審査を予定している。

(※資料2参照)

#### (2) 審査方法について (※資料3参照)

(事務局)

##### 【にぎわいづくりイベント事業】

にぎわいづくりイベント事業は商店街が賑やかしや集客などのため、主に定期的に取り組んでいる販売促進を伴うイベント等の事業である。本事業に関しては、採点を行わず、より良い事業を実施するための意見や助言等をいただきたい。

#### (3) にぎわいづくりイベント事業

##### ・大滝商店街振興組合

##### 質疑応答

(委員)

年々電球の数が増加しているが、イルミネーションの期間の来店者数は増えているか。

(大滝商店街振興組合)

正確な数はわからない。体感では増えた。コロナの影響は大きい。イルミネーションがついている時間以外に出る人が減っている。逆にやらないと更に減ってしまっても困るので合同で続けていきたいと思います。今回もやることになった。電球の数は同じ予算で少しずつでも増やして豪華にしようと考えている。

(委員)

イルミネーションの期間に各お店が工夫するおもてなしなどはあるか。

(大滝商店街振興組合)

今年度はない。商店街に飲食店は2店舗しかなくほとんど物販なのでイルミネーションの時間帯には閉店してしまう。もしやるのであれば他の商店街と一緒にやることになる。

(委員)

せっかくいいことをやっているのでお知らせする手立てがあればいいと思う。閉まってもお店の存在がわかるようなことを検討して下さい。

(大滝商店街振興組合)

検討する。

(委員)

どういったところが評判良かったとか取り上げられたなどはあるか。

(大滝商店街振興組合)

メインはYデッキ下のメインツリー。段々良くなってきているので写真を撮ったり、Yデッキから一列にライトが道沿いについているのが売りだと思うのでそれがSNSにアップしてもらえたらいいと話している。実際に何件かあったようだ。若松商店街振興組合の地域なのだがプレゼント企画などやれたらと話していたが、審査は受けているか。

(事務局)

許可が取ればフォトスポットを設けるなど検討したいとのことだった。気の中に色が違うあかりをつけて探すなどを考えているとのこと。

(大滝商店街振興組合)

一緒にやっている以上協力し、メインのところで行っていききたい。

(委員)

今年見に来たお客様が今年はここがいいなどと見てもらえるといいと思う。

(委員)

今後の展開として中央地区の知名度向上に資する施策と書いてあるが。

(大滝商店街振興組合)

イルミネーションに限らず、横須賀中央と言いながら中心市街地という形が低下している。他の商店街と協力してイベントなどをやっていかなければならない。イベントだけに頼ると一過性になりかねないので街づくりとして市と意見交換しながらやっていききたい。時間はかかるがいい方向にもって行きたい。具体的ではないが意識は共有していききたい。

(委員)

コロナが始まってからどんな業種が減ったなど変化はあったか。

(大滝商店街振興組合)

あった。

空き店舗も目立ってきている。埋まらない状況。埋まったとしても大型のチェ

ーン店しか来ない。飲食はきつかったと思うが物販も相当なダメージを受けている。体力を落としている。これからも少しずつ変わってしまうのではとの危機感がある。コロナが終わってもV字回復にはならないと不安に思う。中央地区は家賃が高い。

(委員)

どれくらいか。

(大滝商店街振興組合)

上町や安浦に比べても相当高いと聞いている。やってみたいけれど気軽にお店を出せない。面白い店を出すのに気軽に出店できたらいい。空き店舗対策に協力したいがなかなか出来ていない。

(委員)

イベントも大事だがそのあたりも考えていく必要がある。

#### ・横須賀商店街連合会

##### 質疑応答

(委員)

地元のお店応援大賞の狙いや効果は。

(横須賀商店街連合会)

一言で言うと商店街を応援しようと言うことに尽きる。市民がインターネットで購入する世の中になっているが、一押しの近所のお店をピックアップ出来たらいい。具体的には2,000円のレシートを添付してもらい応募の条件として飲食や物販の押しのお店を教えてください。今年初めてやるが、3年から5年続けば権威のあるものになるのではと考えている。

(委員)

大型店は対象外か。

(横須賀商店街連合会)

個店を応援するという狙い。

(委員)

押しのコメントが実施後に商店に還元され刺激になるといいと思うがそういうことは考えているか。

(横須賀商店街連合会)

参考になるのでその個店だけでなく全体的に良くなるように結果報告したい。

(委員)

投票されなかったお店は嫌かもしれないが頑張ってみようかという気持ちになるよう上手くいくと良い。何店舗表彰されるのか。

(横須賀商店街連合会)

各部門4店舗表彰する。

(委員)

エリアは関係ないか。

(横須賀商店街連合会)

関係ない。

(委員)

特別賞を設けても面白い。

(横須賀商店街連合会)

面白いので考えていく。

(委員)

使用できるレシートが例えば八百屋など2,000円はどうか。飲食店も一人だとなかなか使わない。普段遣いのお店が省かれるのではないか。地元のお店だとレシートがないこともあるが、その辺の対応はどのように考えているか。

(横須賀商店街連合会)

理想としては、こういう企画があるからレシート下さいというのがスタンダードになるといい。2,000円は高いかもしれないがある程度の金額を落としてもらって盛り上げて行きたい。今回やってみて金額などのリニューアルも考えて進化させて行きたい。

(委員)

レシートの件は合計ではだめなのか。レシート1枚と書いてある。

(横須賀商店街連合会)

柔軟に考えていきたい。

(委員)

横浜市のレシ活も参考にしたら良い。

(横須賀商店街連合会)

スマートフォンでの応募も可能にした。

(委員)

この機会だから買い物しましょうとなるといい。

(委員)

この企画は青年部が考えたのか。

(横須賀商店街連合会)

元々コロナ前から企画があり、今回ブラッシュアップした。青年部が主体。

(委員)

次年度消費者行動を分析できるような仕掛けがあるといい。どういった商店街、店に行きたいのか。

(横須賀商店街連合会)

消費者行動面白い。どうやってやるか考える。

(委員)

一番いいのは時間帯と家族構成が簡単にわかるようなアプリがあれば良い。

(委員)

投票は枠を設けなくて自由にして表彰対象は商店街会員にできないか。チェー

ン店ばかりが上がってくる可能性もある。純粹に行動を見るのであれば大型店も含め把握し、時間帯等や世帯人数等書いてもらおうと面白い分析ができるのかもしれない。

(横須賀商店街連合会)

自由にやると世の中の声が拾える。それを踏まえてやってくのが良い。来年検討する。

(委員)

表彰は会員に限ればやれるのではと思う。

(横須賀商店街連合会)

来年検討したい。

### ・浦賀商友会

#### 質疑応答

(委員)

サコッシュについて聞きたい。どのようなデザインで、いくらで販売するのか。今回のために作るのか。

(浦賀商友会)

抽選で来場者の方にプレゼントしようと思っている。50個は2,000円分の商品券購入者に抽選でお渡しする。50個は3,000円で販売する。

(委員)

その場で使うのか。

(浦賀商友会)

その場ですぐに使って5か所ほどの缶バッチをつけてもらう。

(委員)

サコッシュは老若男女誰でも使えるデザインか。

(浦賀商友会)

海の色でブルー1色。

(委員)

3,000円で完売するか。

(浦賀商友会)

売れないかもしれないが、残れば別のイベントで使うことになると思う。

(委員)

布の上に絵は描けるか。

(浦賀商友会)

帆布なのでできない。

(委員)

リサイクルの商品か。

(浦賀商友会)

リサイクルではない。

(委員)

オリジナルで使える手立てがあるといい。  
バルーンリリースは環境には大丈夫なのか。

(浦賀商友会)

何度もやっているなので特に問題はない。1回あたり100個くらい。

(委員)

SDGsで環境にも厳しいとの意見もあるが、今までは指摘はなかったか。

(浦賀商友会)

3年前はなかった。

(委員)

環境に配慮した素材はないか。

(浦賀商友会)

基本は紙。

(委員)

もしあれば、環境に配慮した素材をつかっていますなどと言えたほうが良い。

(事務局)

バルーンは専門の業者に依頼するのか。

(浦賀商友会)

市内の専門業者に依頼する。

(委員)

横須賀市としても海洋プラごみを無くそうと取り組んでいるので、できるだけ環境に配慮したものを使って値段が高くなるかもしれないが配慮の検討を。

(浦賀商友会)

業者にまだ依頼していないので配慮する。

(委員)

オリジナルバナーは店頭に貼るのか。

(浦賀商友会)

大体A3くらいの大きさと4か所吸盤がついていてお店の後ろから止める形。

(委員)

なるべく視線に入るような工夫を。

(委員)

広報手段のSNSは何を使うか。

(浦賀商友会)

フェイスブック。

(事務局)

11月12月の土日だけではあるが、市のMEGURUプロジェクトで来客がある。それにあわせて浦賀商友会にやって頂くことになった。市のイベントなので市のホームページやSNSと連携しながらやっていけたらと思っている。

(委員)

MEGURU PROJECTの目標値は。

(浦賀商友会)

3万人。

(委員)

浦賀地区に来る方のなかで10%は商店街でお買い物をして欲しいなどや売り上げなどの目標があるか。

(浦賀商友会)

プレミアム付き商品券の完売が目標。1月31日までに使ってもらおう。

(委員)

やる以上はこれくらいの売り上げをと目標があったほうがやる気が出るので余裕があれば検討を。

缶バッジはターゲットをお子さんに絞ったデザインなのか。

(浦賀商友会)

大人にも受け入れられるデザインの予定。

(委員)

悪意をもって集めて売ってしまう人も出るかもしれない。起きたところで考えればいいのかもわからないが色々被害が出ているので注意したほうが良い。

(浦賀商友会)

注意する。

## (5)その他

(事務局)

以上で今年度最終回である第5回の審査会を終了とする。